

災害用トイレ、被災地で活躍！

～ 新潟県中越沖地震で初稼働し、利用者から好評 ～

北陸地方整備局 北陸技術事務所

平成16年10月に新潟県中越地震、今年3月に能登半島地震、そして7月には新潟県中越沖地震と、北陸地方で大規模地震が頻発しています。

当事務所では「災害用トイレ」を開発し、早速、ライフラインが寸断された被災地で活躍しています。

<開発に至った経緯>

被災地では、常設トイレが使えなくなり、悲鳴が上がっています。仮設トイレが調達できた場合でも、以下の問題点や不満が挙げられています。

- ・ 汚い、臭い等、生理的に不快で使いたくない
- ・ 和式が多く、高齢者等が使えない、使いづらい
- ・ 車イス利用者等の災害時要援護者に対応したトイレが少ない
- ・ 水洗式の場合、すぐに洗浄水がなくなり使用できなくなる

このため、トイレを我慢しようと水分を控え、肺塞栓症(いわゆるエコノミークラス症候群)を発症することが懸念される等、災害時のトイレが切実な問題となっています。

今回の災害でも、洋式トイレの要望が強く出されています。

<試作トイレの概要>

これらの問題点を解消するべく、災害用トイレを試作しました。特徴は以下のとおりです。

- ・ 高齢者や災害時要援護者に使いやすいよう、洋式を採用
- ・ バリアフリー対応で、車イスや乳幼児の親子連れにも使いやすい
- ・ 迅速に運搬できる車載型。ヘリコプター運搬も可能
- ・ 車載のままでも地面に据え置いても利用可能
- ・ 超節水型吸引式水洗便器を採用。使用可能回数が多く、臭いも抑制
- ・ し尿は「汲み取り」「外付タンク貯留」「マンホール放流」ができ、様々な現場条件に適用
- ・ トイレ室を3室設け、各々が分割・独立して使用可能

<利用者の声>

- ・ 災害時要援護者や年配者に配慮されており、ボタン等もわかりやすい。
- ・ 現代人には最良のトイレだと思う。
- ・ 安心、きれい、衛生的、使い心地がよい。
- ・ どこでも使えて良い。

<今後の展開>

災害用トイレは、利用者から好評を得ているだけでなく、平常時には工事現場や防災公園等で利用でき、社会的な備えとしても重要であることから、普及に努めたいと考えています。



車イスで利用する被災者(新潟県中越沖地震)



災害用トイレ設置状況(新潟県中越沖地震)



下水道マンホールに接続し、し尿を処理



新潟県中越沖地震の家屋被災状況



新潟県中越沖地震の道路被災状況



新潟県中越沖地震の道路被災状況